

27 糖尿病患者の血糖コントロール率(1型糖尿病)

指標の解説

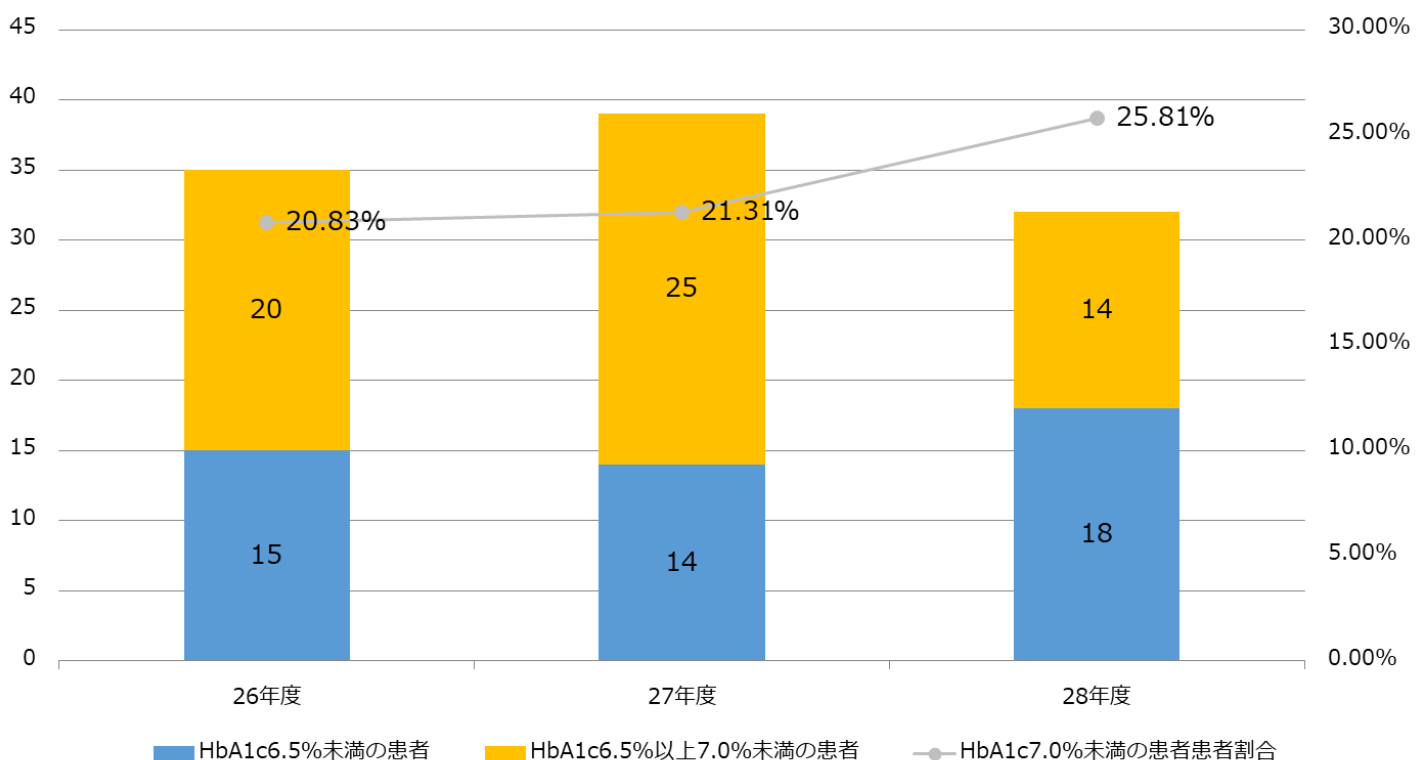
- HbA1cは、過去2～3か月間の血糖値のコントロール状態を示す指標である。
- NGSP値(国際標準値)において、HbA1cが6.5%以下であれば血糖コントロールが「良い」状態とされ、7.0%以下であれば合併症出現の可能性が低いとされる。
- 上記の患者割合が高い場合は、糖尿病診療の質が高いと評価できる。

分子: 分母の患者のうち、算定月から3か月後のHbA1cが6.5%未満又は6.5%以上7.0%未満の患者数

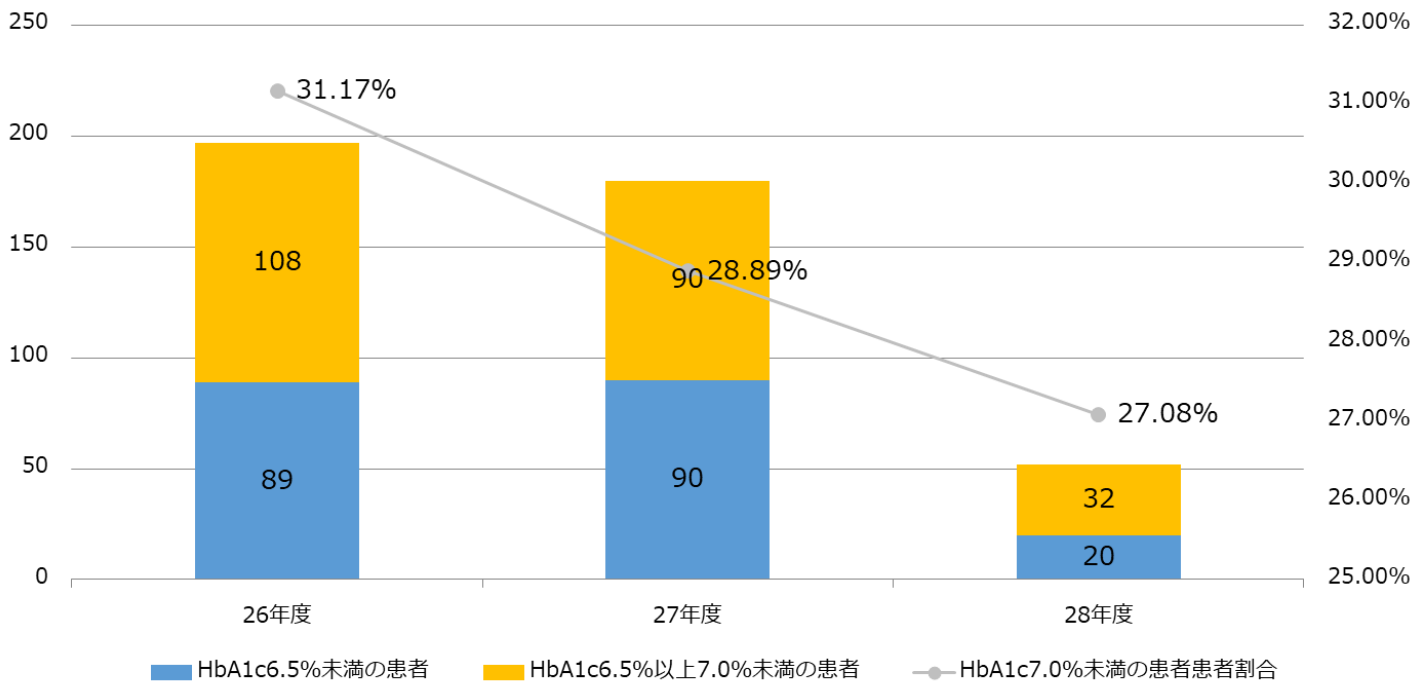
分母: 5月と11月に在宅自己注射指導管理料を算定しているインスリン製剤を投与した患者

注: 2016年5月に、日本糖尿病学会と日本老年医学会により「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標値」が発表され、高齢者についてはよりきめ細かい血糖コントロールが求められるようになったため、上記の目標値は必ずしも当てはまらない。よって、平成28年度以降は、65歳未満の患者を対象として算出している。

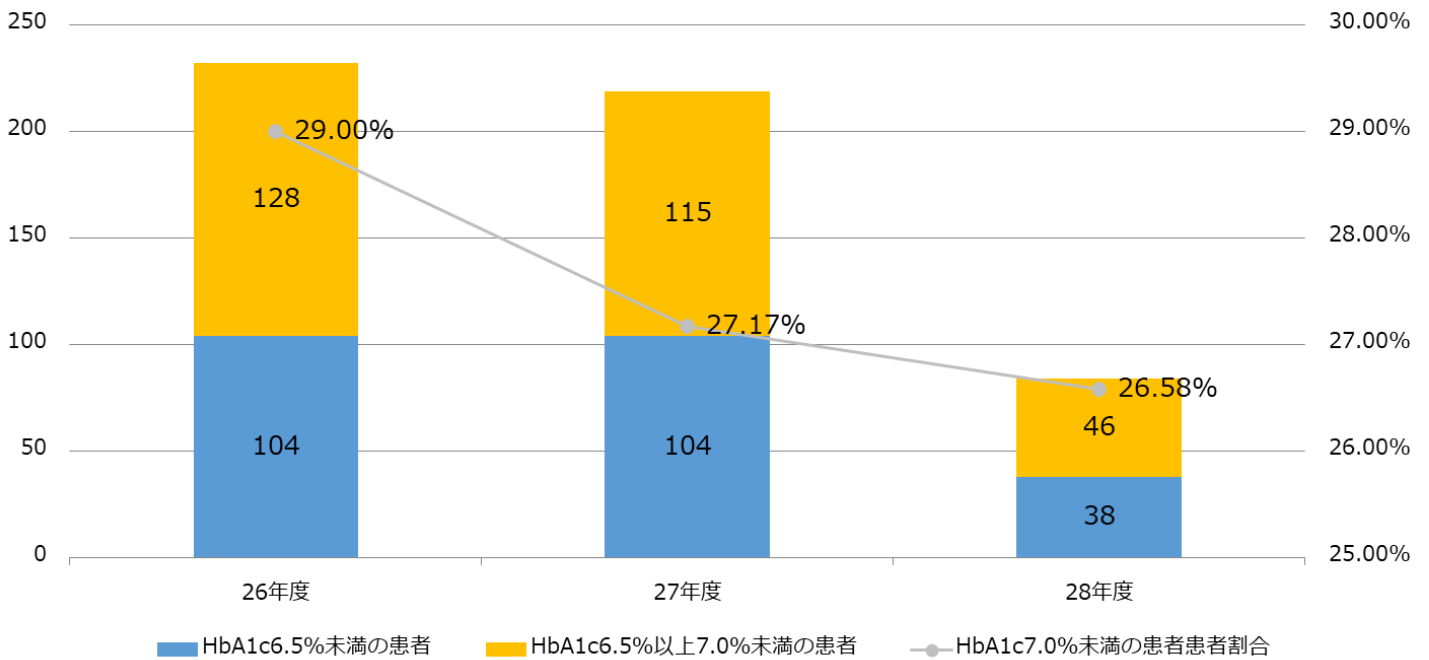
糖尿病患者の血糖コントロール率(1型糖尿病)



糖尿病患者の血糖コントロール率(2型糖尿病)



糖尿病患者の血糖コントロール率(合計)



参考値：51.8%

分子：HbA1c(NGSP)の最終値が7.0%未満の外来患者数

分母：糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数（過去1年間に該当治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者。運動療法または食事療法のみ糖尿病患者は除外）

（引用元：「一般社団法人日本病院会作成「2015年度QIプロジェクト結果報告」参加病院の1型・2型合計の平均値）

当院は「糖尿病センター」を有し、血糖コントロールの難しい糖尿病患者を多数診察していることから、結果として、参考値を大幅に下回るコントロール率となっている。